

法人（事業所）理念		自己効力感（頑張ろう、やってみよう）・自己肯定感（できた、やれた）・自己向上心（なりたい自分に向かってがんばろう）											
支援方針		支援内容は、一人ひとりに合った内容で就労に特化した個別支援をおこなっており、小学生から社会に出ていくことを想定して、生活のルールや社会の決まりを身につけていけるよう支援プログラムを組んでいます。中高生に向けては、会社や特例子会社などと連携し、職場見学や体験をいろいろな視点で経験し、なりたい自分を見つけられるよう支援プログラムを組んでいます。											
営業時間		14時		0分		18時		40分		送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルを築くために、衣服の着脱や洗濯ものをたたむ、買い物が一人で出来るよう直接買い物に出かけ調理する日を設けている。デザートや調理を通して食べることへの興味関心から健康を意識できるようプログラムを組んでいる 生活のリズムの安定の為に、自分のタイムスケジュールを作成して時間を意識し活動できるよう支援する。											
	運動・感覚	基本的な姿勢の維持や次への作業がスムーズに移れるよう、毎回軽い運動を取り入れている 保有する視覚・聴覚・触覚を十分使えるようにビジョントレーニングやリズム運動を取り入れている 体を使う簡単なゲームで判断力や瞬発力を身につけている											
	認知・行動	パズルやレゴ、折り紙などを作成することで空間認知を問うの概念を強めていく スケジュールを示すタイムテーブルを作成し確認することで、時間の認知を高めていく 自分の興味があるものをパソコンで情報を収集し処理・整理していくことで、次に自分が何をすべきなのかを確認している											
	言語 コミュニケーション	伝言ゲーム等相手に正確に話を伝えたり、聞き取る力を楽しみながら身につけられる 季節や行事など生活に密接に関連する言葉などについて、写真や動画など視覚教材を手掛かりに言葉の理解を深めている 指示に従ってゲームやヒントクイズなど楽しみながら相手の話を聞く・理解する力を高めている											
	人間関係 社会性	遊びや作業を通して順番や役割、ルール、感情のコントロールなど社会生活に適応するために必要な力を身につけるために、年齢や性別関係なく参加できるイベントを定期的に行っている 公共施設の見学や買い物など事業所外での活動を通して人との距離感や社会でのルールを身につけられるよう定期的に取り組んでいる 複数人でするゲームや協力して1つの作品を作ることで他者との関係や社会性の向上を図り集団活動が行えるようにしている											
家族支援		学校や家庭での様子を聞きながら相談及び面談の機会を設けます 家庭での兄弟の困りごとと本人とのつながりのなかで相談及び家庭訪問の機会を設けます							移行支援		中学・高校生には、就労を目的として、企業の見学体験の機会を設けます 高校2、3年生に対しては自立サポート支援でより充実した支援をし、関係機関への情報を共有します		
地域支援・地域連携		地域のイベントや放課後等デイサービス以外の福祉事業所や関係機関のイベントに参加することで保護者の方への情報の提供をしていきます							職員の質の向上		市や県が開催する研修への参加 知り得た情報は、事業所で共有している		
主な行事等		年間通して、農業体験として農地を借り作物を育て、育てた野菜を使って農家さんで年に2回、調理体験をしている 地域の子ども食堂で配膳の手伝いを月1回 利用者の作品や調理したものを披露する機会を事業所で年2回程度行っている イベントとしてクリスマス会や餅つき大会など											